

平成 28 年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

大竹市教育委員会

種 目	発 行 者	採 択 理 由
国 語	東 書	<ul style="list-style-type: none"> 教材冒頭に学習の視点や方法が明確でわかりやすい目標として示されている。 実生活とつながりのある、単元を貫く言語活動が意識された課題が設定されており、課題を解決するためのポイントが「言葉の力」に簡潔に示されている。 各学年とも、資料編に「読書活動を楽しもう」として、読書活動に関する教材を掲載しており、作成の手順が簡潔にまとめられている。 古典においては、1年生の導入に生徒が親しみを持つような工夫がある。
書 写	光 村	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の姿勢と構え方が写真（横と正面）とともに記載されており、チェック項目がある。 「行書と楷書の使い分け」など活動のページは、イラストや写真が用いられ、直接書き込みなどもできるようになっており、使いやすい。 「資料」が50ページもあり、国語科の言語活動や総合的な学習の時間と関連付けて、学年や段階に応じた多様な活用ができる。
社 会 (地理的分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> 竹島、尖閣諸島、北方領土についての特設ページが設けられており、位置だけでなく島の様子まで文で示されている。 地理の学習を進める上での基礎的・基本的技能を習得する「スキルアップ」のコーナーが随所に設けられている。 小学校との接続を意識し、各章の最初のページで小学校での学習内容を想起させる配慮がある。
社 会 (歴史的分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の学習内容が第1章として設けられている。絵・イラストと振り返りのヒントがある。 毎時間ごとに課題とまとめが提示されており、そのつながりもある。 防災について、詳しい資料を載せてある。 資料には番号があり、本文の内容との関連を示す表記がある。
社 会 (公民的分野)	日 文	<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページに、課題とまとめが設定されている。 「学習の整理と活用」という学習内容の定着や活用のための問いがあり、地理的分野・歴史的分野との関連を図った学習が配列されている。 各編の初めに「ナビ」をおき学習の見通しをもたせ、各章に課題解決学習をおいている。 見開きごとに「学習の活用」が配置され、具体的な説明（文章や箇条書き）が求められる問いとなっている。 各章に「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「アクティビティ」「学習の整理と活用」という課題解決の設定がされている。
地 図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳の基本的な見方や使い方が、すっきりしていて見やすい。 「地図を見る目」を通して、地図を活用して主体的に学習を進められる設問が設けられている。 巻末の統計資料が他社より詳しく、視覚的にも見やすい。 「やってみよう」のコーナーを多数設けて、地図を活用した言語活動を促している。

数 学	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の操作活動（実験）を通して資料を収集し、それらを用いて学習の流れを作っている。また、活動しやすいように、付録がついている。 ・「数学展望台」や「千思万考」など、学習したことを活用するうえで、資料が豊富である。 ・「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」のマークが課題や問いについており、数学的活動が示されている。授業の中で取り扱いやすい課題が多い。
理 科	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学の本だな」で学習内容に関連した図書の紹介があるとともに、「どこでも科学」で、生徒自身が手軽に行える活動やものづくりが紹介されており、興味・関心の高まりや学習の深まりにつながられている。 ・各学年の巻頭に探究の流れが示してある。特に「学びを活かして考えよう」が小単元末にあるが、課題の着眼点がよく、生徒が意欲的に学習する上で意欲の向上につながる。 ・単元ごとの最初のページでは、1ページの写真があり、before after としてその単元での課題を単元最後のページにも提示することでまとめを自らできるようにしてある。
音 楽 (一般)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱及び創作の基礎・基本の定着を図るために、段階的に学習する工夫や継続して取り組むための手掛りがある。 ・主体的に学習に取り組むために、生徒の学習意欲を喚起する情報が豊富で具体的な手掛りが示されている。 ・発展的な学習へのアプローチがある。
音 楽 (器楽合奏)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の基礎・基本の定着を図るための、基礎的な知識の説明や奏法の示し方が分かりやすい。 ・主体的に学習に取り組むために、創作を取り入れたグループ活動がある。 ・楽器ごとに発展的な学習への取組があり、生涯学習へのアプローチもある。
美 術	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲルニカ」など、生徒たちが有名な絵画と出会うとき、とても大切な要素である作品の色が他社よりも本物に近く再現されている。 ・生徒が作品と出会うとき、情報と鑑賞作品を分けることによって、先入観を持たせない工夫がなされている。 ・美術2・3の巻頭をはじめ、生徒の生活と美術との関わりが整理されており、生徒がより美術を身近に感じられる工夫がされている。
保健体育	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み物」や「章末資料」で具体的な説明をしたり、先輩からのメッセージを掲載したりするなど身近に感じさせる工夫をしており、実生活・実社会へと発展させる工夫もされている。 ・導入と学習内容が関連付けられており分かりやすい。学習を深めるポイントをイラストで示し、クイズや章末資料を活用したり、論理的思考を高めたりする工夫がされている。 ・巻頭で、学習方法を紹介しており、学習活動の中で言語活動に係る学習活動を促す工夫が見られる。章末には考えを記述する場面を設定している。

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容の終わりと単元ごとに振り返りがあり、ABCで評価するだけでなく、具体的な記述が求められ、形成的にも総括的にも理解度がチェックできる。 ・「参考」というコラムを設け、技術的な知識を広げ、興味、関心を持たせる工夫がある。 ・どの内容においても実習例が豊富であり、生徒が主体的に製作、実習を行うことができる。 ・B5サイズの紙面にコンパクトにわかりやすくまとめてあり、情報量も多い。しかも軽量である。 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」において図や写真、表などを基に考えたり、説明したりする項目が設定されている。
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの学習のつながりが明確である。 ・写真が鮮明で生徒の関心意欲を高めるのに効果的である。 ・調理実習の実習例が豊富で、写真の美しさ、手順の分かりやすさ等生徒が作ってみたいくなるよう工夫されている。 ・どの単元でも「探究」や「生活に生かそう」が取り上げられており、学習したことを実生活に生かし、実践力を高めるための工夫がみられる。 ・巻末には、「生活の課題と実践」のページがあり、学んだことを社会に生かすなどの内容が充実している。
<p>英 語</p>	<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入門期は、「Hi, English!」(話す・聞く)と「Unit 0」(アルファベット)の二段階になっており、小学校の外国語活動から中学校英語への接続をスムーズにしている。 ・各活動のページ上の配置が同じで分かりやすく、書き込みができるスペースがある等、指導者が様々な工夫をすることができる。 ・文法事項は「まとめと練習」でまとめてあり、構造的で分かりやすい。演習問題があり、理解度を確認できる。

平成27年度採択事務の経過

4月30日	教育委員会 平成28年度大竹市使用教科用図書採択方針を制定
5月13日	第1回選定委員会 選定委員委嘱・任命 正副会長選出 調査研究会の調査項目決定
5月25日	調査員委嘱 調査項目伝達、教科別に調査研究開始
6月19日 ～7月2日	教科書展示会(市役所1階 情報公開コーナー)
7月14日	調査員による調査研究終了 選定委員会に調査研究報告書提出
7月28日	第2回選定委員会 調査員(各教科の代表)により調査研究報告書の説明
8月5日	第3回選定委員会 教育委員会に推薦するすべての教科書の選定作業終了 報告書作成
8月12日	教育委員会 選定委員会会長より選定調査結果の報告 教科書採択